

## 健康増進部会の開催状況等

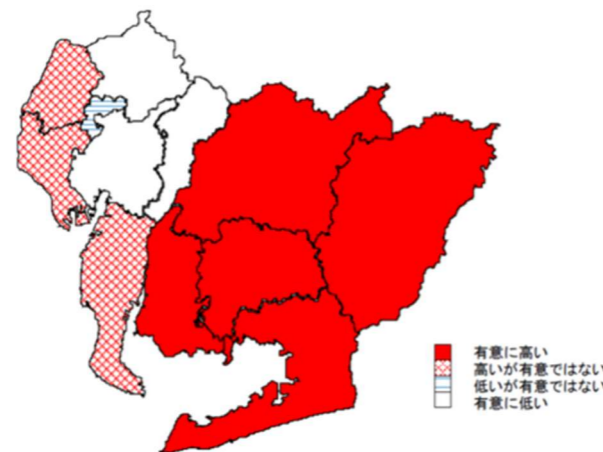
開催日	2025年7月29日(火)
構成員等	飯田将人部会長 はじめ 14名 県医師会、県歯科医師会、県薬剤師会、県栄養士会、健康づくりリーダー連絡協議会、食生活改善推進員協議会、健康保険組合連合会愛知連合会、全国健康保険協会愛知支部、県国民健康保険団体連合会、愛知労働局、県小中学校主任養護教諭会、県市町村保健師協議会、県保健所長会 (順不同)
協議事項 及び 検討状況 等	<p><b>協議事項</b></p> <p>1 「第3期健康日本21 あいち計画」の主な取組について 第3期計画における県民の健康づくりの現状の取組(資料1-2)、今後の施策の方向性について御意見をいただいた。</p> <p>(主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○糖尿病、脂質異常、高血圧の発症予測にAIを活用している事例があると聞いた。「あいち健康マイレージ事業」のアプリで健診結果から疾病の予測が出来るとより予防的に取り組めるのではないか。</li> <li>○市町村職員等の人材育成のため、県による担当者向けの研修会は継続して実施していただきたい。また、市町村の国保担当者からは、地元企業との連携がなされていない話も聞くので、地域・職域連携推進事業の会議体があることも大変ありがたい。</li> </ul> <p>2 愛知県民の健康等の状況について 愛知県民の特定健康診査・特定保健指導の結果を報告し、意見交換を行った。 &lt;特定健康診査・特定保健指導の結果より&gt; (市町村国保はじめ、その他保険者から2022年度の結果データを取得し集計。N=644,520)</p> <p>①全国と比べて生活習慣病の服薬者、既往歴があるものは少ないが、性・年代・地域(二次医療圏)ごとに運動習慣、食習慣等の改善に課題がみられた。 (以下、生活習慣に関する問診項目のうち課題がみられたものを一部、男女別、年代別割合、地域別(色付けマップ)に掲載。)</p> <p>▶男性</p> <p><b>&lt;運動習慣※のない者&gt;</b> ※1回30分以上の運動を週2日以上、1年以上実施</p> <p>30分以上の運動習慣がある</p> <p>尾張西部、海部、西三河南部東</p> <p>40代 50代 60代 70代</p> <p>--- 愛知県 --- 尾張西部医療圏 --- 海部医療圏 --- 西三河南部東医療圏</p> <p><b>&lt;就寝前の食事&gt;</b> ※就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある</p> <p>名古屋、西三河北部</p> <p>40代 50代 60代 70代</p> <p>--- 愛知県 --- 名古屋市 --- 西三河北部医療圏</p>

議題及び  
検討状況等

▶女性

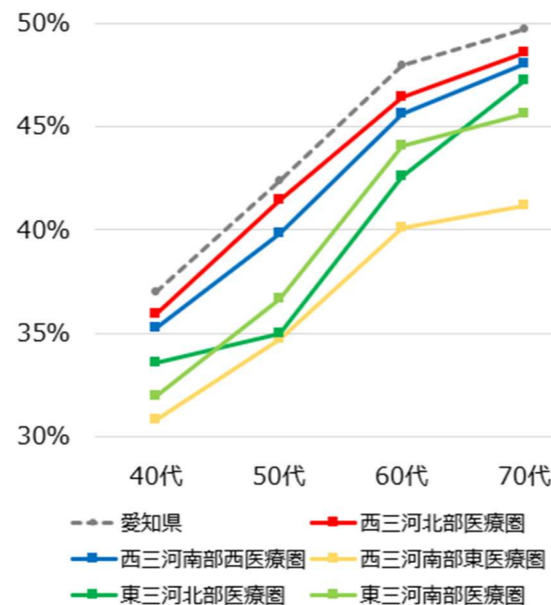
<歩行速度>

※ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が遅い

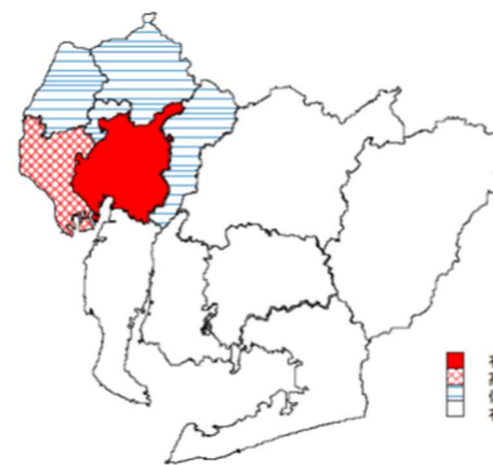


西三河北部、西三河南部西、西三河南部東、東三河北部、東三河南部

同年齢の同性と比較して歩く速度が速い

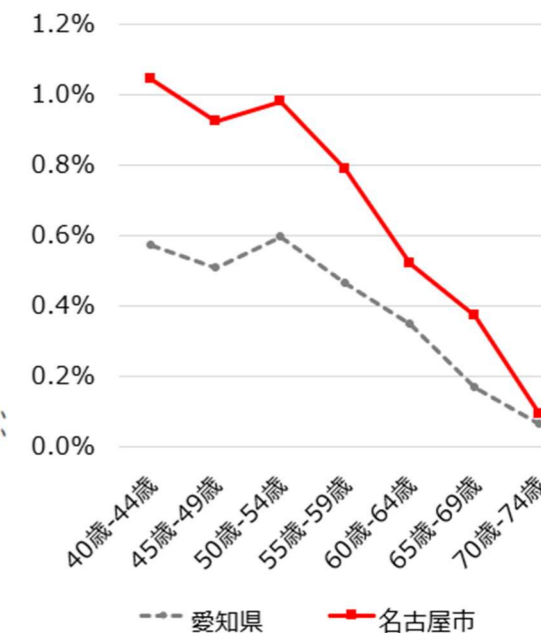


<多量飲酒> ※毎日3合以上の飲酒



名古屋

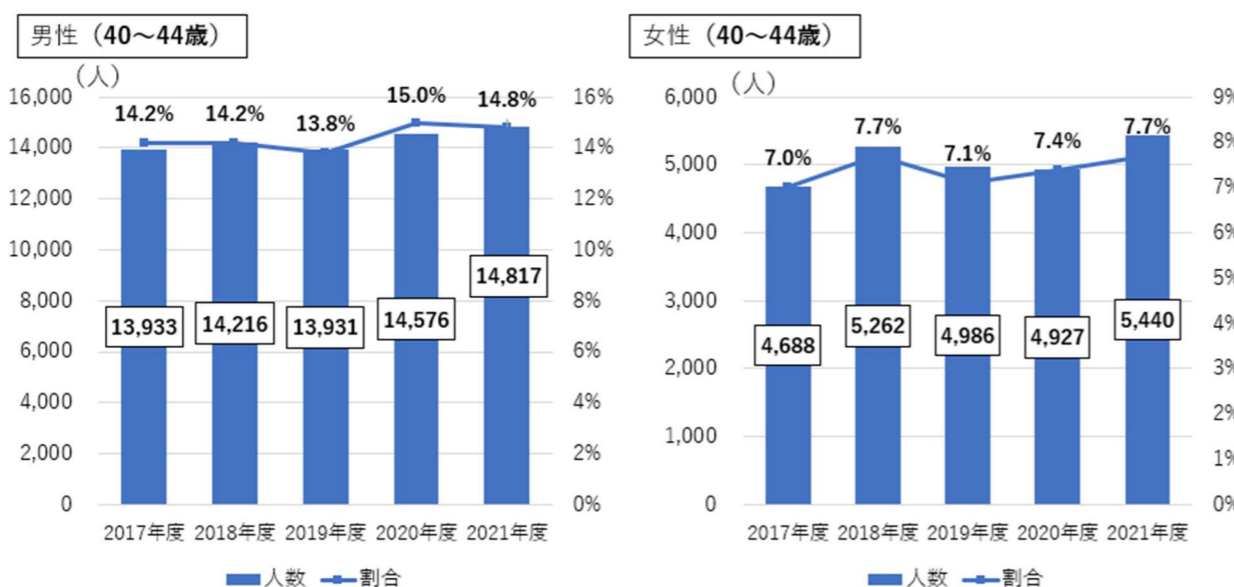
多量飲酒



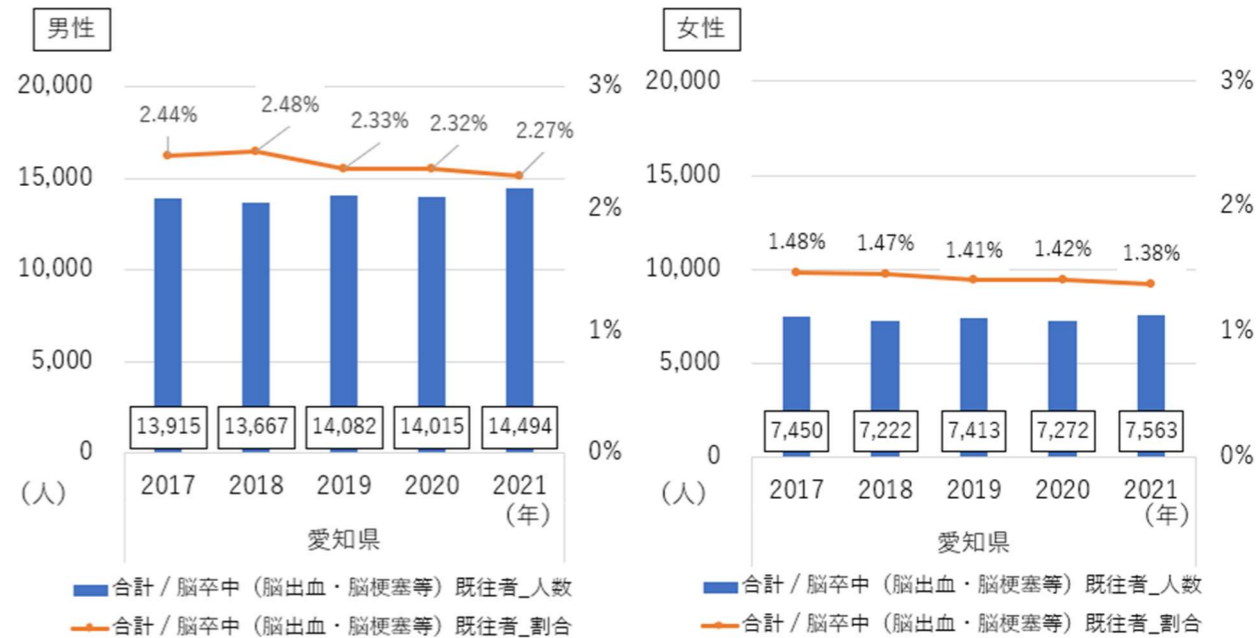
② 40～44歳の時点で、既に一定の割合が保健指導対象となる血圧値となっていた。

脳卒中・心臓病・慢性腎不全の既往者の経年推移を確認したところ、2017年から2021年にかけて人数及び割合に大きな増減はみられなかった。

血圧値が保健指導対象で未治療の人数と割合(2017～2021年度)



<脳卒中既往者の経年推移>



③問診票における生活習慣の状況と、健康状態を示す検査項目（HbA1c、血圧、コレステロール）との関係をクロス集計により確認したところ、問診項目のうち「20歳の時の体重から10kg以上増加している」は、そうでなかった者と比べ、各検査項目において基準を超える者の割合が男女ともに高く、20歳以降の体重コントロールの重要性が示された。

【生活習慣（問診票）】

問診項目
20歳の時の体重から10kg以上増加している
1日30分以上の運動習慣がない
歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上行っていない
歩く速度が同年代の同性より遅い
睡眠で十分休養が取れていない
生活習慣の改善意思がない
保健指導の希望がない
就寝2時間前の飲食が週3回以上ある
朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を毎日摂取している
朝食抜きを週3回以上している
何でも噛んで食べることができない
早食いである
喫煙している
飲酒頻度が毎日である
1日あたりの飲酒量が3合以上である

【健康状態】

検査項目（判定基準）	判定
HbA1c（6.5%以上）	受診勧奨対象
血圧（収縮期血圧130-140mmHgまたは拡張期血圧85-90mmHg）	保健指導対象
LDLコレステロール（140mg/dl以上）	受診勧奨対象

（主な意見）

- 現役で働いている方は、仕事が忙しく夜の食事時間が遅くなる、間食が多い、定期的にお酒を飲むなどの生活が続き、気が付くと健診データが悪くなっている方がいる。
- 特定健診の結果から、脳卒中、心臓病、慢性腎不全の既往や既往がある方の生活習慣について今後どんな変化があるか見ていけるとよい。
- 自然に健康になれるような食からのアプローチとして、子育て世代は子どもの食生活に関心があるため、栄養士として野菜あるいは食のバランスについて啓発していきたい。
- 特定健康診査、特定保健指導の対象は40歳以上であり、39歳以下の方への健診や事後フォローに課題がある。若いうちから望ましい生活習慣を積み重ねることが大事である。
- 労働者が健康に働くことが会社の利益になるため、企業では産業保健への関心が高まっている。愛知労働局では産業保健フォーラムで企業の好事例を広げていきたい。

今後の取組の方向性

運動や食事などの生活習慣、脳卒中、心臓病、慢性腎不全の既往などについて、健診データ等の状況を把握し、地域・職域を始め関係機関との連携を進め、県及び二次医療圏ごとの健康課題に対し、取り組んでいく。